



○ めざす児童像  
明るい子ども  
正しい子ども  
強い子ども

# 秋山っ子

○ 学校の教育目標 豊かな心で正しく判断し行動できるたくましい体をもった子どもを育てる  
～しっかりとした夢をもち、夢の実現を目指して頑張る子どもの育成～  
串間市立秋山小学校 学校だより NO. 4 令和6年7月19日発行

## 1学期終了～ご理解とご協力ありがとうございました

第1学期が終了しました。今学期、秋山小の児童が大きな事故にあうことも、事件に巻き込まれることもなく、終えられるのは学校と家庭、地域が一緒になって児童を見守り、指導している成果だと思います。あらためて深く感謝を申し上げます。明日から児童が楽しみに待っていた夏休みが始まります。夏休みには、長い休みでしかできないようなことにも取り組んでほしいと思っています。どんなことができるのかご家庭でも話し合っていただけるとありがたいです。そして、何と言っても「安全」と「健康」には特に気を付けて、元気に生活してほしいと思います。学校では、夏休み中に注意することをたくさん指導しています。ご家庭でも「夏休みのしおり」をお子さんと一緒に確認していただき、ご指導をどうぞよろしくお願ひします。

## 水泳学習

6月12日（水）の3校時にプール開きを行いました。当日は、天気もよく、絶好のプール開き日和になりました。はじめの会では、校長ががんばることとして①学年や個人の目標に向けてチャレンジすること②安全に気を付けることの2つを話しました。はじめの会の後、水慣れやゲームなどをし、最後は、流れるプールを児童と職員でつくりました。2回目の水泳学習の時間（6月19日〔水〕の2校時）に泳力調査をしました。最後に泳いでからほぼ1年が経っていますので当然泳力が落ちていると思っていましたが、1年前の記録よりも速く、長く泳いだ児童もいてびっくりしました。前年度と今回の泳力調査の結果をもとに今年度の目標を立て、その目標を達成するため練習を行いました。そして、第3回の参観日（7月9日〔火〕）の4校時に水泳記録会を行いました。それぞれが学年の目標や自分の泳力に合わせて自分の目標を設定し、その目標にチャレンジしました。雨が降った日や雷注意報が出た日が多かったために十分練習ができませんでしたが、それぞれの目標に向かってみんながんばりました。



## 食に関する指導①

6月18日（火）の5校時に串間中の村橋栄養教諭を招聘して、食に関する指導を行いました。今回は、4年生を対象にした「よくかんで食べよう」というテーマの学習でした。約2000年前と現在の食事の咀嚼（そしゃく）回数を比較する活動をとおして、よく噛んで食べることの効果について考えました。村橋先生を招聘しての食に関する指導は、今年度は3回計画されています。次は、9月に5・6年生の指導を行う予定です。



## 本城干潟の観察

6月21日（金）に本城小にお願いして、本城干潟の観察と一緒にさせてもらいました。観察には大東小、都井小も参加しました（他の学校は3・4年生が参加）。朝から雨が降っており、

干潟も水面に隠れていて実施できるか心配でしたが、9時過ぎに雨がやむとすぐに晴れて観察を行うことができました。干潟に着いて雨が止むまでの間は、近くのビニルハウスの横で指導者である鎌田さん（市青少協会長）と河野さん（市自治会長会会長）から干潟についての話を聞きました。実際に干潟で採った大きなカニなども見せてもらいました。10時前ぐらいから観察をしました。カニやとびハゼなどたくさんの生き物とふれ合い、児童は大喜びでした。観察をした生き物は、干潟に戻しました。仲間に加えていただいた本城小の内倉校長先生をはじめとする先生方、そして、ご指導いただいた鎌田さんと河野さん、ありがとうございました。



## 8校合同鑑賞教室

7月4日（木）の9：50から串間市文化会館大ホールで福島小学校を除く串間市内8校合同による鑑賞教室を実施しました。今回の鑑賞教室は、文化庁主催舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）の支援を受け、沖縄から沖縄伝統組踊「子の会」の方にお越しいただき、おきなわ伝統芸能「琉球舞踊」と「組踊」を披露していただきました。2部構成になっており、第1部では、琉球舞踊を観たり、沖縄ことばのクイズをしたり、楽器を紹介したりしてもらいました。沖縄独特の楽器もあり、児童は興味津々でした。第1部の最後は、北方小の6年生がワークショップで行った組踊の発表でした。難しい踊りを楽しそうに踊っていました。第2部は、組踊「万歳敵討」という作品を観ました。「組踊」は国指定の重要無形文化財に指定されており、歌、踊りを交えた劇のようなものでした。沖縄ことばの解説付きでしたので、内容がよく分かりました。学校に帰って振り返りをしました。児童には、沖縄ならではの節回しや楽器、劇、衣装などが印象に残ったようでした。今回の鑑賞教室は、沖縄の伝統文化にふれることができた鑑賞教室でした。



## いのちの教育週間

7月1日（月）から7日（日）のみやざきいのちの教育週間に合わせて、本校のいのちの教育週間を1日（月）から9日（火）までと設定し、①いのちの詩や金言の掲示②いのちの話（全校朝の会）③いのちについての授業（学級活動）の実施の3つに取り組みました。①については、過去3年間で掲示した詩や金言（15）の中から8つ選び、掲示板や玄関に掲示をしました。②については、校長、教頭、担任2名、養護助教諭が交代で「いのちの大切さ」や「精一杯生きること」についての話をしました。③については、7月9日（火）の参観日の3校時にみやざき動物愛護センターから2名の方に来ていただき、出前授業を実施しました。内容は、「人と動物のつながりといのち」について授業をしていただきました。また、1週間後の7月16日（火）には、1回目の方々に加えて日南保健所の獣医師さんにも来ていただき、「いのちを育て・つなぐ」をテーマに動物の気持ちや私たちが動物にしてあげられること等について考えました。いのちの教育の出前授業をとおして、人と動物のつながりや動物とのかかわりについて考えるとともに自己のいのちについても見つめなおすことができました。

